おおたわら 社協だより

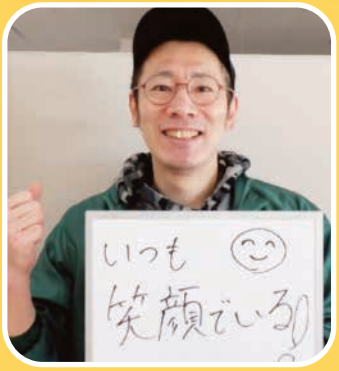
2022 1月号

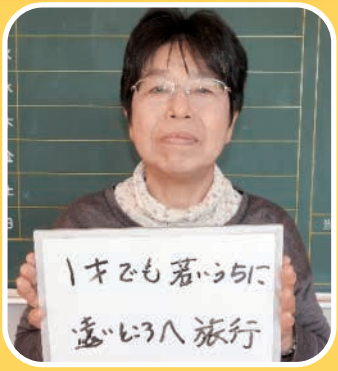
Ohtawara Shakyo Dayori

発行所 大田原市本町1-3-1
大田原市役所 A別館内
社会福祉法人
大田原市社会福祉協議会
発行人 会長 津久井 富雄
発行日 令和4(2022)年1月1日
印刷所 (有)アート美術印刷
(第230号)

地域の皆さんにインタビュー

皆さんの今年の目標は何ですか？





目標に向けて レッツ虎(トラ)イ!

今月の特集

- 会長挨拶
- 各表彰報告
- 各地区の活動紹介
- 地域福祉計画、地域福祉活動計画報告
- ボランティア情報紙「だいすき」

赤い羽根共同募金運動にご協力をいただきありがとうございます

募金内容は 社協だより4月号でお知らせします

令和4年 新年のご挨拶

社会福祉法人　大田原市社会福祉協議会　会長　津久井　富雄

謹賀新年

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年末は、新型コロナウイルス感染者が全国的に減少し、ホッとした年末年始でありました。

コロナ禍のなかでも、地域の皆様と一緒に、高齢者をはじめ支援を必要とする方を支える「安心生活見守り事業」や「生活支援体制整備事業」の推進並びに、地区社会福祉協議会と共に地域の実情にあった支援を行いました。ご協力いただき大変感謝申し上げます。

また、昨年10月から実施している、赤い羽根共同募金運動では、多くの皆様のご協力をいただきました。重ねて深く感謝を申し上げます。

わたしたちを取り巻く地域社会では、年々進む少子高齢化による地域の支え手の減少、社会的な孤立などの課題があります。そのような背景から多様で複合的な問題を抱える人を、制度や分野ごとの縦割りや支え手、受け手の関係を超えて、地域が一体的に取り組む地域共生社会の実現が求められています。

この度大田原市社会福祉協議会では、**ともに生きる豊かな地域社会を目指す～「人の力」「地域の力」「つながりの力」を活かす社協～**という経営理念を策定しました。日頃活動を進める中で感じる、地域の皆さんの意欲や熱意には敬服いたしております。それらを強みとして、多様な人々とのネットワークをパワーに変えて、将来に向けてともに生きる豊かな地域社会へ、なお一層邁進してまいります。

本年も皆様にとりまして、幸多き一年となりますよう、心からお祈りいたします。

寄付報告

令和3年9月16日から令和3年11月30日までに、社会福祉のためにお寄せいただいた寄付の報告です。皆様の温かい善意に心より感謝申し上げます。

大田原市社会福祉協議会寄付

- 匿名 …… 10,000円
- 大田原皐月会 様 …… 53,793円
- 匿名 …… 10,000円
- 匿名 …… 10,000円
- 新泉 洋子 様 …… 10,000円
- 大田原市ゴルフのまちづくり実行委員会 様 …… 10,000円
- 栃木県大衆音楽家協会県北支部 様 …… 20,000円
- 匿名 …… 1,000円

大田原市善意銀行寄付

- 匿名 …… タオル17本
- ダイナム栃木大田原店 様 …… 食料品、日用雑貨品109点
- 北関東雪印メグミルク協会 様 …… 車いす1台

大田原市地域福祉基金寄付

- まつや薬局 様 …… 5,822円
- 栃木県ボランティア連絡協議会 様 …… 30,000円

大田原皐月会 様

ダイナム栃木大田原店 様

北関東雪印メグミルク協会 様

令和3年度

社会福祉法人 大田原市社会福祉協議会会長表彰

受賞おめでとうございます

令和3年10月20日、生涯学習センターにおいて、表彰式を行いました。

日頃から大田原市の地域福祉活動にご尽力された方々に、会長から感謝状をお送りしました。

受賞者代表であいさつを行った大森房江さんは、「今後とも社会福祉協議会とともに、大田原市の地域福祉のために協力していきたい」との抱負を力強く語ってくださいました。

市社協も、より一層地域の皆様と連携し、地域福祉を推進していきます。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

記念撮影の時だけマスクを外しています

前列左から
- **藤田　三夫**（世代間交流喫茶「いってみっけ」）
- **大森　房江**（黒羽地区前田2自治会福祉委員）
- **花塚　光明**（佐久山地区大神自治会福祉委員）
- **津久井富雄**（会長）
- **加藤ハツイ**（西部地区赤堀西自治会福祉委員）
- **益子　悦子**（東部地区若草自治会福祉委員）

後列左から
- **筒井　雅治**（副会長）
- **福原　健治**（副会長）
- **村越　雄二**（常務理事）

鈴木　和江（東部地区清水町自治会福祉委員）当日欠席

（敬称略）

おめでとうございます

中央：津久井 富雄会長
左：大宮司 肇総隊長
右：弓座 ちひろ　両郷地区主任

第46回 地域安全県民のつどい表彰

見守り隊員の皆様の活動が高く評価され、栃木県警察本部長、栃木県防犯協会長より、「両郷地区見守り隊」が功労ボランティア団体として表彰を受け、市社協会長へ受賞の報告を行いました。

生活支援コーディネーター（SC）の活動紹介 その⑥

金田を見つめ、みんなで未来をつくる

金田地区では、小地域で支え合いの地域づくりを考えていく「小地域福祉活動計画」を策定しています。

5年後、10年後の自分たちの金田地区を、どんな地域にしていきたいかを考え目指す地域像を皆さんで話し合い、『手を取り合い　絆深まる　かねだの未来』に決まりました。そして、「地域でこんな困りごとがあるよ」「自治会でこんな活動をしているよ」など、地域の声をもとに話合い、生かしていけるよう進めています。

話し合いの様子

地域の皆さんへ

「地域の良いところ」を、金田地区の皆さんと共有していけるよう、一緒に取り組んでいきたいと思います。

金田地区 SC　松本　淳子

ささえ愛の地域づくり

大田原市では、地域のみなさまとともに**ささえ愛おおたわら助け合い事業（生活支援体制整備事業）**に取り組み、市内12地区の第2層協議体で話し合いを進めています。各地区の第2層生活支援コーディネーター（SC）が、地域の特性に合わせて様々な活動や人々をつなげたり、組み合わせたりなどの調整役として活躍しています。

地域では、自然な形の小さな支え合いがたくさんあります。それは、地域のお宝です。みなさんも、身近な地域の自然な支え合いを見つけて、ぜひ、教えてください。

くらし × 人 × つながり = しあわせな地域づくり

地域の人の暮らしぶりを知り、人とつながる活動を通して、しあわせを実感できる地域がつくられていきます。大田原のあちらこちらでは、たくさんの方がつながりを大事にし、支え合いの活動をがんばっています。みなさんもしあわせな地域づくりの活動に参加してみませんか。

金田地区社会福祉協議会

那須共育学園に食事配送用の小型車両が寄贈される
～ お弁当のかけ紙の絵を描く金田南中学校の皆さんと ～

東部地区見守り隊・協議体

ご近所の助け合いを体験する
「新・助け合い体験ゲーム」を実施

ちかその思いやり隊

「体調はどうですか?」
民生委員さんによる声かけ訪問を実施

紫塚協議体

～ 災害時の避難支援も普段の見守りから ～
支え合いマップづくり

佐久山地区協議体

～ ボランティアの仲間を増やすために ～
みんなのアイディアが集結

西部地区社会福祉協議会

「楽しみに待っていたよ!」
ボランティアさんの食事サービスが再開

野崎地区協議体

「今、地域にできることはこれだよね！」
みんなの知恵をあわせて企画会議

湯津上地区社会福祉協議会

湯津上中学校の皆さんが藍染めした布で
マスクを手作りし、お弁当と一緒に高齢者へ

黒羽見守り隊助け合い隊

「いつもありがとね」
訪問した隊員さんと楽しい世間話の時間

川西地区社会福祉協議会

久しぶりにみんなと出かけられて
嬉しい買い物ツアー

両郷地区協議体

地域への熱い思いが飛び交う
小地域福祉活動計画策定委員会

須賀川地区見守り隊・協議体

「自分事として考えなきゃね」
認知症講座

地区社会福祉協議会 …「自分たちの地域を自分たちで良くしていこう」地域の皆さん主役の組織です。
見守り隊 …… ご近所同士で声をかけあい、気にかけあって見守り・生活支援を進める活動です。
協議体 …… 支えあいの地域づくりを考え・進めるための話し合いの場です。

第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催しました

基本目標ごとの達成度

基本目標・基本施策			点数（5点中）
			2.87
1		互いに違いを認め合い支え合えるまち	3.11
	1	ご近所同士声をかけあい、つながりをつくりましょう	3.31
	2	歩いて行ける場所での集まりが大切なので、集まりの場所までの移動手段をつくりましょう	2.92
2		必要な人に必要な支援がつながるまち	3.09
	1	閉じこもっている人が、外に出られるようにしましょう	3.02
	2	誰もがわかりやすい行政サービスにしましょう	3.07
	3	気軽に相談できる体制をつくりましょう	3.17
3		みんなの寄りどころのあるまち	2.60
	1	年々空き家が増えているので、いろいろな世代の方々が一緒に集まれる居場所・通いの場をつくりましょう	2.95
	2	空き家や空き地を地域で活用しましょう	2.25
4		子どもたちが夢ある未来へ向かうまち	2.81
	1	子どもたちが明るく安心して遊べるまちにしましょう	2.71
	2	世代間交流を積極的に進めていきましょう	2.93
	3	地域みんなで、安心して子どもを育てられるようにしましょう	2.78
5		いきいき・わくわく活動できるまち	2.83
	1	世代を超えて地域の行事にみんなで参加できるようにしましょう	2.94
	2	定年退職した人など、熟年パワーを地域の活力にしましょう	2.82
	3	障がいのある人が地域に参加できるようにしましょう	2.56
	4	福祉教育を充実し、共に生きる意識を高めましょう	2.83
	5	小中学校は、地域活動の重要性について理解しているので、今まで大人だけでやっていたイベントの企画などを先生だけでなく、児童生徒も一緒にできるようにしましょう	2.97
6		あんぜん・あんしんなまち	2.80
	1	災害時にどのような支援があるのかなど、多くの住民に情報が行き渡るようにしましょう	2.75
	2	お互いのことが分かれば、様々な事に対応できるので、一人ひとりに合った（障がいの内容や程度に合わせられるようにするユニバーサルデザイン）方法で、対応できるようにお互いを知りましょう	2.42
	3	みんなで地域づくりをしましょう	2.89
	4	みんなが健康で暮らせるようにしましょう	2.93
	5	「権利擁護」の言葉を知らない人が多いことから、もっと啓発しましょう	2.65
	6	地域福祉活動計画については、日常生活圏域ごとの課題もあるため、地域ごとの小地域福祉活動計画を策定しましょう	3.15

活動の進み具合を教えて！ ～調査と評価から～

大田原市の地域福祉を進めるための「第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画」は、令和元年4月～令和5年3月まで5年間の計画として地域みんなで進めています。昨年令和2年度には、計画がどのように進められているか、取組状況調査（左表）を行い、市、市社協、施設団体、地域住民から基本目標・施策をもとに評価と意見聴取を行いました。またそれらをもとに本計画の推進委員から多くのコメントをいただきました。

10月には地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催し、アドバイザー（国際医療福祉大学林教授）からアドバイスをいただき、進捗状況について話し合いました。

左の表は、基本目標、基本施策ごとの評価点数を一覧にしたものです。

生活福祉資金貸付のご案内

生活福祉資金貸付制度は、他の制度からの資金を借りることが困難で、所得の少ない世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、市社会福祉協議会が窓口となり資金貸付を行う制度です。お困りの方はご相談ください。

※資金は4種類あり、貸付の対象者は限られています。

■ご利用いただける方（市内にお住まいの方）

①一定所得以下の世帯
②障がいを持つ方のいる世帯
③高齢者世帯

※世帯に貸付する資金であり、個人に貸し付けるものではありません。

■連帯保証人

1名（別世帯で、保証能力がある方）

※詳しい貸付の種類や内容などは、市社会福祉協議会本所（自立相談係）へご相談ください。

■利 子

①連帯保証人がいる場合は、無利子
②連帯保証人がいない場合は、「年1.5%」
③教育支援資金 ・ 緊急小口資金は、無利子
　⬇ 他制度優先　⬇ 一時的な困難・2カ月後から償還開始

■返 済

①返済期間は資金により異なります。
②返済期間内に返済が完了しなかった場合は、残元金に対し「年3%」の延滞利子が発生します。

生活困窮者 相談事例

高齢のAさんは、庭で野菜を作り、知人から安く米を買い、生活費の足りない部分は派遣の仕事や日払いのアルバイトで稼いでいました。家庭の事情で未払いのため年金は少額。加齢もあり体調を崩しやすくなったことで収入も減ってしまい困っていました。心配した民生委員さんから連絡があり、Aさん宅に訪問し生活状況を伺いました。

初めは、「誰にも迷惑をかけたくない」と支援に拒否的でした。しかし次第に心を開かれ「仕事はできる範囲で頑張るが、どうしても足りない部分はお世話になることも必要。」と考え方が変わっていき、生活保護の申請につながりました。

心配ごと相談

※民生委員児童委員が相談に応じます。秘密は守られます。

地　区	大田原			湯津上	黒　羽
開催日	1月7日	1月14日	1月21日	1月5日	1月20日
	1月28日	2月4日	2月18日	2月2日	2月17日
	2月25日	3月4日	3月11日	3月2日	3月17日
	3月18日	3月25日	4月1日	4月6日	4月21日
	4月8日	4月15日			
時　間	9時～12時			13時～16時	9時～12時
会　場	市役所A別館1階（市社協　本所　相談室）			佐良土多目的交流センター	市社協黒羽支所
電　話	23－1130			98-3715	54-1849

コロナに負けるな!!

ささえ愛きずなセット配布 のお知らせ

経済的な困窮状態が続き、食べ物や生活用品を満足に確保できない方がいます。地域の支え合いで、みんなでコロナ禍を乗り越えていこうという想いから、赤い羽根共同募金の配分金より、食品・生活用品・クオカード（18才以下のお子様のいる世帯）を「ささえ愛きずなセット」として配布をしています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、失業や休業などで減収状態にあり、日常生活の維持にお困りの方を対象としています。どうぞご相談ください。

※数に限りがありますので、無くなりしだい終了とさせていただきます。

地域の力を合わせて被災者支援を！

令和3年度災害ボランティアセンター運営連絡会

いざ災害が発生すると、全国からたくさんのボランティアが被災地へ駆けつけます。その際に、支援を必要とする被災者と適切に結びつける役割を担うのが災害ボランティアセンターです。

大田原市では、様々なニーズが飛び交う被災者支援に備えて、「災害ボランティアセンター運営連絡会」を設置しています。11月22日（月）に各団体のリーダーが一同に介し、意見交換や活動報告を行いました。

連絡会の様子

災害が起こったときに円滑に行動するためには、普段からの顔の見える関係づくりがなにより重要です。今回の連絡会では、コロナ禍での全国的なセンター運営を通して見えてきた課題や、感染症対策と被災者支援の両立策などを共有しました。

☆連絡会メンバー

大田原市民生委員児童委員協議会連合会
大田原市ボランティア連絡協議会
一般社団法人 那須野ヶ原青年会議所
IUHW(国際医療福祉大学)ボランティアセンター
大田原市（福祉課・危機管理課）

ボランティア情報紙

だいすき

大田原国際交流会

ボランティア紹介コーナー

1987年(昭和62年)設立　会員数 51人

諸外国の人たちとの交流を通してお互いの理解を深め国際親善に努めています。

●活動内容・・・

那須国際交流フェスティバルの開催、日本語、英語、中国語教室、世界の料理教室の実施、大田原市産業文化祭参加、外国人との交流（ハイキング、ポットラックパーティ）

産業文化祭での様子

日本語教室↑

オーストラリアにて→

ハイキング

●頑張っていること…

外国人との交流を楽しむため、会員が語学教室などで自ら勉強をしています。

●伝えたいこと・・・

海外交流に興味のある方は、ぜひ私たちの活動にご参加ください。特に日本語教室では、ボランティアを随時募集していますので、お気軽にお問合せください。詳しくはホームページで。（URL　https://www.oifa-nasu.jp）

災害ボランティア講座のお知らせ！

被災地復興の主役は被災者です。被災された方の心に寄り添い共に歩むボランティアについて学びます。

日　時：令和4年3月6日(日)
　　10時～12時(予定)
場　所：調整中
講　師：Office SONOZAKI
　　代表　園崎 秀治 氏

※事前申し込み制・定員５０人
※詳細は市社協ホームページなどでお知らせします

ボランティア活動保険加入のお知らせ

現在ご加入中のボランティア活動保険の補償期間は３月末日で終了となります。

令和４年度分のご加入につきましては3月1日(火)から受付を開始いたします。市社協本所、各支所の窓口でお申込みください。

ミニ豆知識 ～その3～

【マタニティマーク】

厚生労働省が作成したもので、多くの自治体や民間での啓発に活用しています。

大田原市社会福祉協議会は、みんなの**ふだん**の**くらし**の**しあわせ**を応援しています！

【本所】
本町 1-3-1 市役所 A 別館 1 階
☎ 23-1130
☎ 24-0294
FAX 23-1138

あすてらす
おおたわら
☎ 23-7375

【湯津上支所】
佐良土 853
佐良土多目的交流センター内
☎ 98-3715
FAX 98-8011

【黒羽支所】
黒羽田町 848
☎ 54-1849
FAX 54-2745

大田原市
社会福祉協議会
介護事業所

ボランティア募集情報は、市社協ホームページの「お知らせ」に掲載しています。
● 市社協ホームページ URL　https://www.ohtawara-shakyo.or.jp/